入院診療看護計画表(頭部外傷)

病棟　　病室　　号　　氏名(　　様)

担当医(　　)(　　)(　　)　看護師(　　)

病日 / 項目	／　(　) 入院当日 救急センター	救急病棟	／　(　) 入院翌日
予定	□頭部CT □血液検査 □胸部レントゲン □心電図 □点滴をします ……→	□モニターをつけます ……→	□頭部CT(状態に応じて) □状態に応じて抜きます
食事		□欠食・水分は可能(状態に応じて) ……→	……→
活動 排泄		□トイレ歩行可(最初は付き添いで)	□診察の後、安静度を変更します
清潔			□着替えのお手伝いをします
説明 指導	□異常症状の確認をします ……→ 頭痛、嘔気、麻痺、けいれん 飲み込みにくさ、喋りにくさ 意識 瞳孔 歩行状態	□入院までの経過をお聞きします □入院のご案内をします □他の病院で飲んでいる薬がありましたらお知らせください [特に、脳梗塞や心臓の薬で血流を良くする薬。血圧の薬など]	……→ □担当医より説明があります □看護師より退院指導があります 退院基準 トイレ歩行状態良好 意識レベル良好 食事摂取状態良好 □退院できます □入院継続します

＊頭部外傷の方へ＊

CT検査は全ての方に必須のものではありません。
また、最初のCTで問題がなくても後日変化が出てくる可能性があるため、受傷後は注意と様子の観察が必要です。

①頭痛がだんだん強くなる、吐き気、嘔吐が何回も起こる
②ぼんやりしだす、放っておくとすぐに眠ってしまう。起こしてもなかなか起きない
(受傷当日が夜間でも、ときどき起こしてみて、はっきり返事ができるか確かめてあげてください)
③物が二重に見えたり、物がよく見えなかったりする
④手足が動かしにくくなったり、しびれたりする。特に右と左で動き(力の強さ)が違う
⑤けいれん(ひきつけ)が起こる
⑥普段と比べて何かおかしい

このような症状が見られたときには出来るだけ早く医療機関を受診する事が必要です。
このような症状はすぐに起こることもありますが、2～3日、時に数日から数ヶ月経って起こることもあります。
頭を打った後は、1～2日間は安静にして、一人で外出しないなどの注意が必要です。
また、小さなお子さんの場合、自分の事をうまく伝えられないことがあるため、お家の方がしっかりと観察してあげる事が大切です。

受傷から1～3ヶ月の間に起こりうる事

頭部の負傷後、1～3ヶ月して、時に次のような症状が出ることがあります。
①ふらついてうまく歩けない　②性格が変わった・認知症の様　③吐き気・頭痛
このような症状の場合、慢性硬膜下血腫という病態のことがあります。高齢者に比較的多く見られます。医療機関の受診をお勧めします。

岡山済生会総合病院/岡山済生会外来センター病院　2017.02更新